

主なルールについて

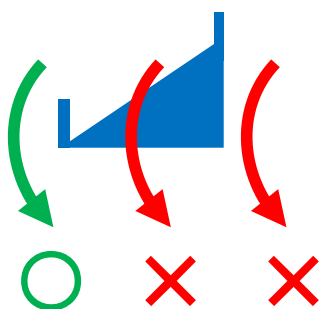
予選・決勝の出走に関する本大会のルール

- 予選は1人**3本**滑走して頂きます
3本中**2本合計のベストタイム**で競っていただきます
- 決勝トーナメントは各ヒート1人1本で競っていただきます

コースインスペクションについて

必ずビブを見えるように付け、横滑りにて行ってください。
ボードを真下に向けて滑ったり、コース内を旗門のまねをして滑ったり(シャドーライディング)すると、失格となります。

旗門(フラッグ)の通過の仕方



図の「○」印のようにインポール(ショートポール)より外側を、ボード全体と両足で滑走できればOKです。

図の「×」印のようにインポールより完全に内側を通った場合や、ボードの一部がインポールを踏みつけただけの場合も**旗門不通過**となります。

不通過のままゴールしても、滑走タイムは無効となり、該当者はヒート終了時に掲示されます。

もしも不通過してしまっても、すぐに止まって戻れる場合は旗門まで登り、正しいコースを滑りなおせば、通過したこと(OK)になります(再滑走は必ず両足装着で！)。

失格となる場合

インスペクション違反(上記)や、片足のみの装着で旗門やゴールラインを通過してしまった場合、また、競技中に1回でもボードから両足を完全に外した、または外れてしまった場合。

滑走中、妨害などを受けて再走できる場合、出来ない場合

滑走中にコースを塞ぐ転倒者や役員がいるなど、正常な滑走が出来ないような妨害を受けた場合はすぐに滑走を中止し、近くの旗門員に申し出てください。選手の申し出が正当と判断すれば、再走を認めます。

そのまま滑走し続けてゴールしてしまった場合は一切の異議が認められませんので要注意！

また、計測機の不都合などで主催者側から再走をお願いする場合があります。ご了承ください。

抗議の受付について

失格を受けた場合など自身の成績発表が事実と反し、これを覆すための抗議は、フィニッシュエリアにて受け付けますので、ゴールテントまでお越しく下さい。ただし、円滑な競技運営のために、証拠や根拠が不十分な**安易な抗議はお控えください**。

本紙にないルールはJSBA競技規則や競技運営の慣例に基づき、公正に判断して運営いたします。